

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)ホテルユニゾ京都四条烏丸 | 階数 | 地上10F地下1F |
| 建設地 | 京都府京都市 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火・準防火地域 | 平均居住人員 | 720 人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | ホテル | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2014年7月 予定 | 評価の実施日 | 2013年4月5日 |
| 敷地面積 | 893 m ² | 作成者 | 榎恭志郎 |
| 建築面積 | 721 m ² | 確認日 | 2013年4月6日 |
| 延床面積 | 6,250 m ² | 確認者 | 静茂夫 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|--|--|
| 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ホテルという住居系用途として、過度な性能を有した設備計画ではなく、お客様の満足が得られるレベルで必要最低限の性能を有した設備計画とし、無駄の少ない環境にやさしい建築物として計画する。 | 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 |
| Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 遮音性能の確保、空調換気設備の設置。化学汚染物質を発生しない材料を使用。客室窓には複層ガラスを使用。 | Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 低層階の階高を4.0m超。事務室のOAフロア。各客室でのPC使用環境の確保。 |
| Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 | LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地周辺に対する配慮として、臭気を伴う恐れがある1階テナント部分の排気を屋上から排出。 |
| LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 なし | LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 なし |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される